

屋

上を向いて歩こう。

月刊島民

橋を渡る人の「街事情」マガジン

中之島

Vol.73 2014 8/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)



ナカノシマ大学

「生き延びる」ための教育論
「街場の学びが
目指すもの」

申し込み受付中!



見上げた先は こんなことに。 ナカノシマ屋上便り。

京 阪電車・天満橋駅の東向かいに建つOMMビルの21階。東ブロックには一般開放されているスカイガーデンがある。訪れるのは、大阪市内を見渡せる展望を撮影に来たり、写生する人が多いのだそう。

「話題になった回転展望レストラン『ジャンボ』の後に、日本料理『楽待庵』が入居されて、



見よ、この眺望。大阪城方面と中之島方面にライブカメラが設置され、ホームページで見られる。

大人も子どもも。OMMビル



ひょうたん池(上)や大阪のビル群を眺めながら、働くオジサンたちが休憩中。

「こういう環境のクラウンドで遊べる保育所は珍しくて、子どもたちがのびのびと成長できる場所なんです」と、園長の赤野富子さんは微笑む。参観日や運動会でも活躍する屋上グラウンドは、気持ちがいいと保護者にも好評だ。

OMMビル スカイガーデン

竣工当時は西日本初の超高層ビルとして、78mの高さが大阪人を魅了。現在も多くの飲食店や郵便局、病院が入居する大規模複合ビルとして親しまれている。屋上へは中央エレベーターで、[楽待庵]と同フロアの21階へ。サクラの通り抜けなど、大阪の風物詩も一望できる。一般開放は10:00AM~4:00PM。



それまで洋風だった庭園を和風の市松模様のデザインに変更したんです。大阪城を望む立地を生かして、豊臣秀吉にちなんだひょうたん型の池を設置し、地元色を濃くした。レストランのお客さんが屋上庭園を見つけて、そのまま足を運ぶことも多いのだとか。

なにしる眺望が素晴らしい。近くには大阪城やOBPのビル群が立ち並び、遠くにはあべのハルカスがそびえ立つ。六甲山や生駒山もはっきりと見える。転落防止用の柵もガラスなので、

屋上でたっぷり運動した子どもたちは、よく食べ、よく眠るように。目が行き届く少人数制だからこそ、実現した遊び場だ。



「里山」あります。

大阪市役所

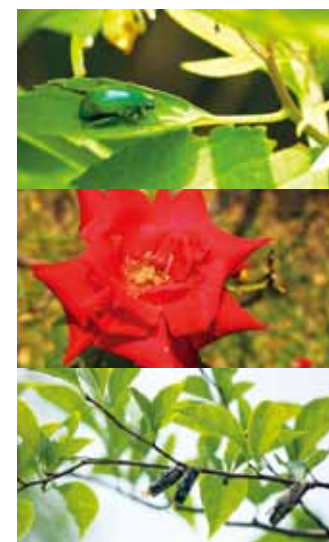
「この木はね、実の形が子どもの手の握りこぶしに似ているから、コブシ」という名

前なんです」と、見上げた先の木を指して、大阪市の職員で屋上の緑化施設に詳しい中田眞司さんが解説してくれた。大阪



鳥や昆虫が好むように考慮されたレイアウトだが、ウッドデッキを設け、人もほっとできる空間に。

市役所では6月末から11月末までの毎週金曜日のみ、屋上の緑化施設が一般公開されている。里山をイメージして造られた北ブロックでは、鳥や虫が好む野草や樹木が植えられている。コブシはその中の一つだ。「里山エリアを見て、田舎の思い出話や、草花の豆知識などを教えられる人もいます。」ふらりと立ち寄



都心部では珍しく、高い梢にミノムシを発見。実りの秋は、特に鳥や昆虫が集まる。旧庁舎から継承する「みおつくしの鐘」も周辺に。

る年配夫婦が多いが、「チドメグサはどこですか？」とやって来た小学生たちには、中田さんも驚いた。市役所の屋上には珍しい野草があると、いつの間にか広まっていたようだ。市役所の屋上を緑化したのは、10年前のこと。ヒートアイランド現象の緩和対策として屋上緑

化が目ざされはじめた頃に計画・整備したもので、市民や企業に屋上緑化を進めてほしいという願いから、毎年一般公開を行っている。「10年もたつと、当初は植えていなかった草木が見られるようになってきている。ここに飛んでくる鳥の糞に植物の種が

屋上緑化は環境にいい？

「屋上の樹木まわりの気温を計ると、コンクリートタイル面付近に比べて2～3℃低いんです。また、植物が二酸化炭素を吸う量は、樹木の成長によって10年前の2倍という結果に。屋上緑化はヒートアイランド現象の緩和だけでなく、大気の浄化や騒音の低減、やすらげる空間の創出にも一役買っています。「緑」を増やしたいのに街中にはあまりスペースがない。そんな理由から屋上の活用が始まりましたが、最近では、建築コンセプトから屋上緑化

を取り入れたビルが増えています。

土や樹木の重みで、建物に負荷がかかるのでは？ とよく訊かれますね。その問題は、人工軽量土壌で解決。火山灰のように気孔がたくさん開いていて、軽くて通気性・保水性があります。建物コンクリートとの間には透保水排水層、防根シートを挟んでいるので、土や樹木によってコンクリートが腐食する心配ありません」

●大阪市建設局公園緑化部 協働課 中田眞司さん

大阪市役所本庁舎 屋上緑化施設

通常、屋上は「R（ルーフ）」で表すが、市役所の屋上入口は「P（ペントハウス／塔屋）」の1階に。南ブロックは、一般家庭にもあるような庭園をイメージ。南西側はハナミズキやシモクレン、南東側はコバノランタナなどを配植。一般開放は11月28日までの毎週金曜日の1:00PM～3:30PM（※屋上への入場は3:20PMまで）。



混じっていたり、昆虫が花粉を運んできたり。創設当初に約100種を植えた草木は、今も増え続けているそうだ。都会の真ん中で、自然のサイクルができあがった証拠である。

メイドイン屋上。

ヴィアーレ大阪／大阪ガス本社

ダ イビル本館1階にあるビストロ「スーブルヴァンヌ」の「カチョカパロのチーズフレ 梅田ハチミツ添え」なるメニュー。シェフが「花の香りが柔らかく広がる。しつこくなく、クセの少ないチーズとは好相性」と大絶賛するハチミツは、実は茶屋町にあるビルの屋上から生まれたもの。銀座の屋上養蜂にヒントを得て、2011年から始動した梅田ミツパチプロジェクトがつくっている。市内の街路樹、大阪城や中之島公園の花々が混ざり合った百花

熱々のチーズスフレ1,620円は、ワインにぴったり。



ハチミツ

プロジェクトの発起人・小丸和弘さんが店舗デザインを手がけ、メニュー誕生のきっかけに。味わえるのは5:00PM～9:30PM(LO/土曜11:30AM～5:00PMLO) ☎06-6446-2929 日・祝定休 ※製品は阪神百貨店のハチミツ専門店「ラベユ」で購入可能

ハ チミツや野菜だけではなく、ゆくゆくは、

探し出すまでは失敗の連続だった。「大阪市中央区の名産・玉造黒門越瓜がうまく収穫できた時は嬉しかったですね。採れたてはぜひ、シンプルな野菜スティックで。

収穫があり、サラダコーナーに彩りを添えている。見よう見真似で始めた野菜作りも3年目。無農薬を掲げ、屋上の空気や日光当たり、培養土に合った野菜を

本 町のホテル「ヴィアーレ大阪」のランチバイキングには、屋上で育った野菜が目に見える。日野裕料理長が直々にお世話する屋上菜園では、このところ毎日のように夏野菜の

う声が大きくなる。中之島の環境改善につながる、屋上から始まる壮大なストーリーなのだ。

蜜は、先述の高いクオリティが大好評。都市養蜂を通して環境問題を緩和しようというコンセプトに賛同する企業や飲食店が増えつつある。需要が増えれば生産量も増え、ミツパチの食べ物、すなわち花を増やそうという声が大きくなる。中之島の環境改善につながる、屋上から始まる壮大なストーリーなのだ。

野菜



「キュウリは一本のつるから30本ほどを収穫。冬は玉ネギが美味しいですね」と料理長。



くは主食であるコメも、オフィス街の屋上で賄えるかもしれない? 京都大学による世界初のオフィスビル屋上でのコメの水耕栽培実験に、自社屋上を提供したのは大阪ガス本社だ。実験開始の2011年、収穫量は少なかつたものの、栽培自体は可能と判明。翌年は、液肥の量や稲の品種を比較し、より効率的

な栽培を目指した。迎えた3年目、ヒートアイランド現象の緩和に貢献できることがわかった。イネは水分吸収量に優れ、空気中への蒸発量も多いのだ。実験後は「黄桜」の研究所が協力し、収穫したコメで日本酒を醸造。実験に立ち会った大阪ガス環境部の中村博一さんによれば、「酒造りに適したコメではないらしいんですが、辛口で美味しかった」とのこと。「屋上産」の可能性が広がったニュースである。

「実験成功が嬉しくてビジュアルにもこだわった」というラベルが本格的。



日本酒



ヴィアーレ大阪

非公開の屋上菜園は、ご近所の企業が進めていた「室内野菜工場」に、設置のヒントを得た。屋上野菜が登場するランチバイキングは、90分制1,522円 ☎06-4705-2411 11:30AM～1:30PM(LO)



大阪ガス本社

昭和41年(1966)竣工の大阪ガス本社北館屋上は、この数年でトンボ池やチガヤの草原を配し、整備された「庭園」から、鳥や昆虫が生息しやすい「里山」環境に変わりつつある。



屋上は「避難場所」になる?

「地震による津波が起きたら、基本的には建物の3階以上へ避難するよう勧告しています。ビルごとに屋上を避難場所と決めていたり、緊急用ヘリポート(緊急救助用スペース)を設置していたり。もしもの時に備え、職場や周辺のビルの屋上に避難できるか事前に調べておきましょう。屋上へ上るために一般のエレベーターを使ってはだめです。閉じ込められてしまうとすぐに助けが来るとは限りません。また、災害状況やビルの築年によってとるべき行動が変わります。最新免震構造なら、ビル内の方が安全。昭和56年以前の旧耐震基準のビルなら、広域避難場所に逃げた方がいいかもしれません。

もともと水害が起こりやすい大阪市内の湾岸隣接区では、屋外の人々が逃げ込める「津波避難ビル」を指定しようという動きがあり、北区では東日本大震災以後に取り組みを開始しました。いつ来てもおかしくない南海トラフ巨大地震において、中之島は被害が少ない想定ですが、何が起きるかわからないのが天災。今では、グランフロント大阪やブリーゼタワーなどが賛同してくれています。

●大阪市北区役所 住民自治課 岡本祐男さん



屋上と「社交」。

アーく瓦町ビル／サントリービル

昭和 41年（1966）に竣

工した本町の大阪化学織維会館（現在のアーく瓦町ビル）の屋上は、50年もの歴史を持つゴルフ練習場だ。この屋上を拠点とするライズゴルフクラブのインストラクター、根ヶ山久子さんは社交場としての屋上を振り返る。「当初は、ビルの株主たちが集まる娯楽スペースとして設置されたと聞きました。地下のダンスホールも合わせて、年配の男性が談笑しながらゆったり過ごせる場所でした。やがて近隣ビルからもスーツ姿の男性が歩いてやってくるようになり、『御堂筋がどう変わったか』なんて世間話が増えたそう」。

高度経済成長期の1950年代から1970年代、昼休みは

屋 上での「社交」と言えば、ビアガーデンだ。大阪では昭和28年（1953）に開業



堂島浜の古河大阪ビル屋上にもゴルフ練習場がある。来年1月で閉鎖されるのが残念。



アーく瓦町ビル ライズゴルフクラブ

「最近、趣味としてゴルフを楽しむ若い女性が多いですね」と根ヶ山さん。屋上の開放感と、マンツーマン指導が受けている。ビジターもウェルカム。
☎06-6229-0888
10:00AM～9:00PM
日・祝定休



サントリービル 屋上ビアガーデン

「当時は入場制限をするほど大盛況だったようです」と広報部の藤原智子さん。今年「沖縄」がテーマのメニューが目玉。9月22日（月）まで無休
☎06-6345-3948
5:30PM～9:00PM
（LO）※雨天中止



した第一生命ビルの「ニユートキヨー」を皮切りに、高度経済成長期に大流行。そんな最中の昭和46年（1971）、サントリーが大阪本社ビル完成と同時にオープンした屋上ビアガーデンは、40年来のファンを持つ老舗である。業務ビルの屋上を、夏季限定とはいえ、一般開放したケースは珍しい。今やビル屋上のビアガーデンがすっかり当たり前となったが、退社するサントリー社員とビル目当てに乗り込む人々がエレベーター前のエントランスで入り交じる日常は、ここだけのものだ。

お稲荷さん ウオツチング。

豊 積を司る稲荷神社は、転じて商売繁盛をもたらすとされ、ビルの屋上にはもってこいの神様だ。

屋上のお稲荷さんたちは、かつては地上にあった。蔵屋敷が多かった中之島では藩ごとに神社が置かれ、その多くはお稲荷さんを祀っていた。廃藩の後、蔵屋敷跡に建てられたビルの屋上には、お稲荷さんたちが土地の守り神として地上から遷された。だから、屋上のお稲荷さんの由来を辿れば、蔵屋敷がひしめいていた江戸時代の中之島に行き着く。今も神社まわりのほりや提灯で飾り、役員勢揃いで参列する年中行事があるのも、藩士たちが盛り上げた稲荷祭りの名残なのだ。

その土地ならではのといえば、大阪天満宮の氏地であることにちなんで天神さんを祀る企業も。かつて堂島川を挟んで中央公会堂の向かいにあった大阪回生病院ではお稲荷さんが祀られていたが、中津に移転した後、遠くなった大阪天満宮に思いを馳せて、分霊した天神さんをお迎えしたそう。

中之島 フェスティバルタワー

かつては宇和島藩蔵屋敷で祀られた社が、旧・朝日新聞ビル屋上から13階のスカイテラスへ。年季の入った石像の狐はそのままに、現代的なビルのデザインにマッチするよう、新しい観音開き扉が付けられた。



日本銀行 大阪支店

昭和55年（1980）の新館建設時、島原藩蔵屋敷の神社を屋上に遷座。穀物の神様と、水運と水害からの守り神が祀られている。



大阪駅前第1ビル

狐塚と呼ばれる石碑は、狐たちが住んだ丘の名残。およそ600年前の南北朝時代から伝わる。この土地を開拓した渡辺家の守り神だ。



大阪駅前第2ビル

3階駐車場フロアにあり、毎月8が付く日は緑色の提灯が下がる。徳兵衛大明神というが、曾根崎心中の徳兵衛とは別人。

あの屋上は、今。

新ダイビル



1964

完成したのは、まだ屋上緑化の概念がない高度経済成長期であり、「働くための会社の屋上に、緑地を設けるのは効率が悪い」という考えがあった時代だった。

働く 島民のオアシスだったかつての新ダイビルの「屋上樹苑」。建て替えのために2010年に解体が始まり、懐かしく思う人も多いのでは。

この屋上樹苑が完成したのは、昭和39年（1964）のこと。ビルを建設する前、その場所には広大な空き地があり、そこは、生駒山から六甲山へ飛んでいく

渡り鳥が羽を休めていくのにはもってこいの原っぱだった。建設を進める中で、当時の社長はこう考えた。「自然を保護しつつ、生きとし生けるものの生活環境を維持しつつ、土地を開発し人間生活の為の土木建築を進めるのが、人間の叡智であり万物の霊長たる所以であると言

わねばならぬ。そこで造られたのが屋上樹苑だった。野鳥が止まる雑木を植栽し、水遊びのため、のせせらぎを設け、餌台を置



2015

「ビル単体ではなく、街単位で緑化について考えたい」と広報室の鈴木量太さん。

屋上開発研究会と申します。

その 名の通り、主な活動は屋上に有効活用するための開発研究。調査結果を元に、屋上緑化の普及運動や、手付かずの屋上に人を集める空間づくりに取り組んでいる。

創設は平成元年（1989）の東京。都心部で高層化するビルの屋上の使い道を考え、デッドスペースを防ぐ目的があったが、折しも屋上緑化の声が高まりつつあった頃。2000年には、それまで「指導」だった屋上緑化が「義務」へ改正される動きがあり、2006年に大阪支部が開始した。ヒートアイランド現象という言葉が登場し、

いた。そして、その自然の中で人が過ごせる遊歩道やベンチをしつらえた。

2015年3月、新ダイビルは高層ビルとして竣工する。かつての屋上樹苑は地上に降り、「堂島の杜」と名を変える。だが、オフィス街のオアシスという使命は継承され、生き証人であるかのように、かつて屋上樹苑で育った樹齢50年以上のケヤキやモミジの一部が移植されるそう

新ダイビル

期待ビル名も継承し、地上の庭園が高まる。約1,000坪に、レスランのオープンテラスなど、自然を楽しむ工夫が施される。かつて外観の四方に配置されていた羊の彫刻も、エントランスで迎えてくれる。完成を楽しみに待とう。

屋上樹苑解体の時に立ち会った関係者たちは、屋上の狭い土中で横ばいに根を張っていた樹木のたくましさに驚いたという。オフィスビルの屋上環境になじみ、自然と人間が共存する暮らしの豊かさを、これからも教えてくれるのではないだろうか。

実施している「屋上緑化コーディネーター資格試験」の合格者は1400名を超えた。

植栽の3分野の知識と技術が必要なんです」と、大阪支部長の小山和明さん。大和ハウスグループでビルへの植物リソースを呼びかけるかたわら、屋上緑化研究に余念がない。造園や建築設計業界の大手企業が賛同し、定例会では専門分野の知識を出し合い、最新の屋上緑化技術の情報共有を図っている。

「屋上緑化の概念がない時代に建てられたビルは、もちろん屋上に敷き詰められた土の重量に耐えられない。風の影響や樹木の種類も計算がいります」。付け焼き刃の知識で屋上緑化に走らないよう、2004年から毎年活動を進めています。

大阪支部会員の小川薫さんは「屋上の活性化は、まだこれから」と話す。46年前に御堂筋に面するビルに勤めていた経験から、オフィス街の屋上について考えてきた。「昼休みに屋上でしたキヤッチボールやバレーが楽しくて。その時代は何をしても許された風潮があって、規制は緩やかでした。今はヒートアイランド対策と言いつつ、せっかくの緑が太陽光パネルに取って代わられた屋上もあり、コミュニティとしての場がどんどん失われている。屋上の利用価値が復活することを期待して、我々は活動を進めています」。



「マルビルのような壁面緑化も増えれば」と小川さん(左)と小山さん。



喫茶グリル パイン

空が広く、南北に挟まれた川からの風が心地よい立地と、外壁の艶やかな釉薬タイルが渋い、いいビルの佇まい。こんな好条件なプライベートの屋上がある住まいだったらと、想像を膨らませてくれる私の理想形。
(選／川原由美子)



中之島センタービル

竣工:1975年

中之島に最初に建てられた“超高層ビル”。東京の超高層がスッパリしているのに、大阪の超高層ビルは屋上に「何か」付けないと気が済まない。子どもの頃、まるで宇宙探査機のようなデザインの塔屋を見上げて、ワクワクしたことをよく覚えている。(選／高岡伸一)

BMCプロデュースの名物企画 「トロピカルビルパラダイス」

ファンの間ではすっかり有名となっている、大阪・千日前のキャバレー・ユニバースのあった場所を会場とする「トロピカルビルパラダイス」。目玉は今年ももちろん河内家菊水丸さんと呼んでの盆踊り。ゴージャスなキャバレーのステージに櫓が建ち、レーザー光線が飛び交う演出にトランスすべし。

開催日／9月6日(土)

時間／6:00PM～11:00PM

入場料／2,000円(当日のみ)

出演／河内家菊水丸

Sweet Hollywaiians ちんどん通信社

浦朋恵&ザ・ロックンバートンズ

<http://bldg-mania.blogspot.jp/>

ビルの屋上には、人を無条件でワクワクさせる魅力がある。今は日本最高の高さを誇るあべのハルカスの展望台が目だが、私たちBMCが愛する高度経済成長期のビルには、遙か眼下に都市を見下ろす超高層とはまた違う、この時代に特有の絶妙な距離感をもった屋上がある。

この時代のビルの屋上は、都市の中の解放区だった。昔のテレビドラマに出てくるような、昼休みに屋上でバレーボールを楽しんだり、ゴルフの打ちっ放しのあるビルは普通にあった。あるいはビルのオーナーが趣味で凝った日本庭園をつくってしまったり、代々の家業を守ってきたお稲荷さんが、居場所を失って

ビル好きが指南する
屋上の見方。

屋上という名の 「解放区」。

BMC (ビルマニアカフェ)

屋上に奉られていることも多い。機能や合理性からはみ出すものを包容する自由さが、屋上にはある。

また屋上には通常、^{どうや}と塔屋と呼ばれる小さな小屋が設けられる。そこには設備機械やタンクなどが納められているのだが、制約の少ない塔屋の外観は、設計者が思う存分、自由にデザインできる場所だった。特に大阪のビルには、個性的な塔屋が多い。

ビルの屋上に出ることはなかなか難しいが、屋上からチラリとのぞく「何か」を地上から見つけ出し、そこに広がる解放区を想像してみるのも面白い。

BMC (ビルマニアカフェ) 1950～70年代のビルを愛する男女によるユニット。メンバーは高岡伸一、阪口大介、夜長堂、川原由美子、岩田雅希の5人。ビルを使ったイベントや自分たちで制作・販売する『月刊ビル』などを通じて魅力を発信中。著書に『いいビルの写真集』『いい階段の写真集』(共にパイ インターナショナル)がある。



リバーサイドビルディング

竣工:1965年

土佐堀川に面した水平連続窓から、水辺を贅沢に楽しむことができる。建物の構造が高速道路の柱脚を参考にしていてところから、塔屋のデザインに道路のガードレールを使っているのが密かな見どころ。(選／夜長堂)



荒川帝釈ビル

竣工:1969年

土佐堀通に鋭利に突き刺さるビル。ブルータイルと水平連続窓のストライプはクール。年中万国旗がはためくのもまたクール! 思わず見惚れて見上げれば屋上には庭が。うーん、これぞ大阪の社長さんの自宅付社ビルの鑑。(選／岩田雅希)



三井倉庫

竣工:1956年

中之島からは川を隔てて見える。赤く刻まれた丸に三井の紋章がとてもしっかりと。そしてその上に目を向けると朱色の鳥居が植栽とともに並ぶ姿が。ビルの屋上稲荷シリーズの中でも、倉庫の上とは珍しい。(選／阪口大介)

街の灯りが…。

中之島は星が見えない街らしい。

正確に言えば、見える星の数が少ないということだ。昭和63年（1988）から昨年まで環境省が行っていた「スターウォッチング・ネットワーク」という大気環境の調査も兼ねた星空観測キャンペーンによれば、全国約300ヶ所の観測ポイントのうち、中之島はワースト3の常連。東京・渋谷や名古屋と「星の見えるさ」を競い合っていた。

ではなぜ見えないのか？ 大阪市立科学館の学芸員で観測天文学を専門とする、コスモ渡部 こと渡部義弥さんに聞いた。

「一番の理由は街の灯りです。地上の光は上空へ抜けるわけではなく、大気中の物質に反射して戻ってきます。また空気そのものも光を散らす性質がありますので、地上の灯りが強ければ強いほど空全体がぼんやりと明るくなり、相対的に星の光が弱く見えるのです」なるほど、「街の灯りがとてもきれいな」という歌があったが、それと引き替えに星は見えづらくなっているわけだ。大阪市内のあらゆる場所で観測されていたわけではないので、大阪で一番見えないかというと、そうでもないようだ。

夜空には「本物」がある。

このように星を見るには不向きな場所ではあるが、大阪市立科学館では「天体観望会」というイベントを開館以来ずっと続けている。渡部さんによれば、電気科学館（昭和12年・

中之島の星を。

ビルの屋上のもっと上、夜空に浮かぶ星たち。だが、中之島はあまり星が見えない場所らしい？ そんな中之島でも見える星と、その見つけ方を、大阪市立科学館の方に教えてもらった。

取材・文／大道 力（本誌）

大阪市立科学館の学芸員・渡部義弥さんに聞きました！

残業で疲れた島民におすすめ！
帰り道に見上げたい
中之島で見える星。

★土星

「え、土星なんか見えるの？」
はい、実は肉眼でも見えるんです。南西の低空、腕を伸ばし、拳骨2つ分ほど上げたあたりに見える。南西なので、土佐堀川にかかる橋の上などが見えやすい。ちなみに近くに見える赤い星は火星。2年ごとにこういう配置になるのだそう。

★織り姫・彦星

こと座の「ベガ」とわし座の「アルタイル」だが、京阪電車ユーザーはぜひこう呼びたい。織り姫は夜9時頃にはちょうど頭の真上あたりにある。彦星は南東の空に見えるが、織り姫のやや下で東寄りだと覚えておくと見つけやすい。

★デネブ

織り姫と彦星を見つけたら、もう一つ見つけたいのがはくちよう座の一等星・デネブ。2つよりはちよつと暗いが、南東の空の高いところ、織り姫の東の方によく見える。この3つを結び、中学校の理科で習った「夏の大三角形」の完成だ。

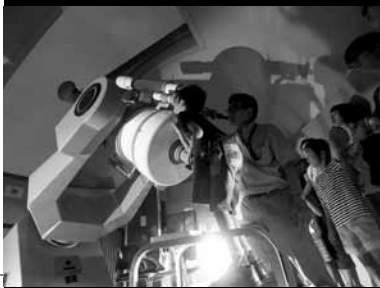
渡部さんは観望会を続ける理由をこう語る。
「ミュージアムとは本物を見せる場所です。本物の星がみなさんの目の前にあるんですから、ぜひ見ていただきたい。そのために観祭の仕方を紹介し、機会を演出していきたいと思っています。僕たちのミッションは科学を楽しむ文化を広めること。実際に星を見れば、家に帰ってからでもまた見られますし、職場で誰かに教えることもできる。『こないだ教わったんやけど、あれ、土星らしいで』って、それが僕たちの喜びです」

星を見上げの中で、自然と会話が生まれてくるのが嬉しいと話す渡部さん。そうやって純粹に楽しむことが、「自然科学の原点になる」という。だから、見上げてごらん、中之島の星を。



1937開館)でも行われていたようで、そうするともうかれこれ80年近くになる。ほぼ毎月1回ペースの観望会は、科学館の屋上にある大型望遠鏡で星が見られるとあって大人気。50名の定員に対して、多い時には数十倍の応募がある。家族連れをはじめ、年齢性別を問わず多くの人

見上げてごらん、



大阪市立科学館 天体観望会

毎月約1回のペースで開催。また、時期に応じて特別観望会を開催しており、こちらは定員がなく、誰でも予約なしで参加することができる。8・9月のスケジュールは以下の通り。
問い合わせ ☎06-6444-5656
<http://www.sci-museum.jp>

特別天体観望会 「月と土星を見よう」

日時/8月2日(土)
7:30PM~9:00PM
場所/大阪市立科学館 南側広場
参加費/無料
※申し込み不要。当日、直接会場へ
※天候不良時は中止

天体観望会 「秋の月を見よう」

日時/9月6日(土)
7:30PM~9:00PM
場所/大阪市立科学館 屋上他
対象/小学1年生以上
(小学生は保護者同伴で申し込みを)
定員/50名(応募多数の場合は抽選)
参加費/無料
締切/8月27日(水)必着
申し込み方法/往復ハガキに必要事項(住所、名前、年齢・学年、電話番号)を記入し、大阪市立科学館「天体観望会9月6日」係へ

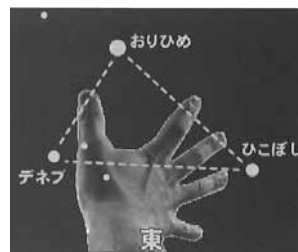


2014年8月12日の午後9時の空を示した星図

資料提供/大阪市立科学館

終電を過ぎたら...

この時期、もっと遅い時間になれば「ペルセウス座流星群」に目にかかることができる。8月12日~13日にかけての深夜1時~3時過ぎがピークで、北東の空を中心に、1時間あたり50~100個(都心なら20個程度)の流星が見える。11時くらいからぼつぼつと見えるそう



「夏の大三角形」
こうすると見つけやすい!
頭上に織り姫を見つけたら、思い切り右手を広げて上に伸ばしてみよう。親指の方にあるのがデネブ、小指の方に見えるのが彦星だ。



公共政策ラボ ×



ナカノシマ大学
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

「生き延びる」ための教育論

「21世紀は街場で学べ！」

5月に衆議院で「教育改革法案」が可決されたことで、大阪だけでなく、日本全国で教育環境が激変しようとしています。そんな流れの中、「おせっかい教育論」のメンバーに再び集まってもらうことにしました。もはや「おせっかい」という悠長な状況ではありませんが、これから目指すべき方向性を共有したいと思います。今後、PPLとしては教育問題についてのシンポジウムを続けて開催したいと考えており、ゲストとして前大阪市教育委員長の長谷川恵一さん(エール学園理事長)をお迎えし、大阪の教育現場の最新情報もうかがうつもりです。



「公共政策ラボ」とは？

平松邦夫氏が中心となって、地域社会の再生を基本に、行政も社会の一員としてその果たす役割を考え、社会の全体改革に繋げていく方法を検討・発信していくための「ラボ」(＝研究所)。愛称は「PPL」。大阪市内を中心にさまざまなテーマで講演やシンポジウムなどを開催している。http://www.with-ppl.jp/

シンポジウム

「街場の学びが目指すもの」

鷲田清一(大谷大学教授・大阪大学名誉教授)

内田 樹(凱風館館長・神戸女学院大学名誉教授)

釈 徹宗(相愛大学教授)

平松邦夫(公共政策ラボ代表)

あのキックオフセミナーのメンバーが再び集合！
4人が開いたそれぞれの場所で実践していること、
そして、日本の教育が目指すべきもの。

2009年10月1日のナカノシマ大学キックオフセミナーは、鷲田清一氏、内田樹氏、釈徹宗氏、当時は大阪市長だった平松邦夫氏という顔ぶれが揃った。それから5年、4人はそれぞれに「街場の学び」を実践している。

内田氏は神戸・住吉に合気道道場兼学塾である「凱風館」を建てた。釈氏もこのほど「練心庵」を開き、寺子屋のような場を目指す。また、鷲田氏は自宅に近所の学生を集めて私塾を開いており、平松氏は公共政策ラボを立ち上げさまざまな活動を行っている。ではなぜ4人は「身銭」を切ってこうした場所をつくったのか？ それは既存の教育システムが制度疲労を起こしているという危機感があるからだ。

先日、大阪市は問題行動を繰り返す児童・生徒を隔離する「特別教室」を設ける方針を示した。また、学校選択制や小学校からの英語教育導入などの政策は、競争を煽り、子どもたちを偏差値によって序列化する狙いがある。それが将来の年収や生活に直結するとすれば、子どもたちは際限のない競争に晒されるか、疲れて学ぶことを放棄するか、どちらかの選択を迫られることになる。

しかし、偏差値や学歴といった固定した学力をいくら身に付けたとしても、世界情勢や景気の動向が変われば必要な能力はあつという間に変わり、不要なものは切り捨てられる。今、求められているのは、予測不可能な社会の中、それでもなんとか生き延びていくセンスと知恵ではないか。4人が揃って学びの場を開いて教えているのも、まさにそんな「生活力」だ。

今回のシンポジウムでは、それぞれが実践している学びの現場の話を中心に、競争から離れた「生き延びるための教育」とは何なのか？ 熱い議論を通じて語り合う。



「街場の学びが目指すもの」

日時／2014年9月11日(木)

6:30PM～8:30PM頃(開場5:30PM～)

会場／大阪市立住まい情報センター ホール

受講料／2,200円(※公共政策ラボ会員は2,000円)

定員／300名

主催／公共政策ラボ

協力／ナカノシマ大学事務局



地下鉄谷町線・堺筋線
天神橋筋六丁目駅
3番出口すぐ

お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。ハガキ、ファックスでお申し込みの方は、講座名を必ずお書き添え下さい。

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 吉河大阪ビル4階
シンポジウム受付係 FAX.06-4799-1341

※先着順で受付を確認し次第、順次、受講票をお送りします。
※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。

ナカノシマ大学の最新情報は

<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは
こちら！→



お問い合わせ ☎ 06-4799-1340
(ナカノシマ大学事務局)



内田 樹

教育によって利益を受けるのは、
共同体そのものである。

個人が学校に通って、しかじかの知識を得たり、技術を身に付けたり、資格を取ったりして、それで高い年収を得たり、社会的地位や威信を獲得したり、そういう自己利益を達成するために人は教育を受けるのだという思想が広まってしまった。それが教育崩壊の根本にあると思います。

学校教育を子供たちに授けることによって、最大の利益を受けるのは共同体そのものなんです。共同体を支える公民的な意識を持った人間、公共の福利と私的利益の追求のバランスを考えて、必ずしもつねに私的利益の追求を優先しないようなタイプの大人を、社会のフルメンバーとして作っていくということは、共同体の存続にとって死活的に重要なわけです。だから、本来は、共同体の全メンバーは「ありとあらゆる機会に、子供たちを成熟に導く」という活動に身を捧げなきゃいけない。でも、そういう動きが今は出にくくなっている。それは、ほとんどの人が——学校・大学人、教育を受けている人たちや保護者も含めて——「学校教育というのは、教育を受けることを通じて個人が受益するためのものだ」と思い込んでいるからだと思うんです。(本編・第1夜より)



鷲田清一

教えるひとと教えられるひとが
時に反転するような学びの場を。

わたしは大都市にあっても、郊外のベッドタウンにあっても、シャッターの下りた地方都市にあっても、「限界集落」と呼ばれるような過疎地にあっても、職住一致というポリシーでまちを再構築することを本気で考えなければならない時代がきているようにおもふ。もちろんすぐにそれは不可能であろうから、さしあたっては「学校」という場所を、さまざまな「おとな」が地域の施設としてあたりまえのように使うというふうにもっと風通しのよいものにしよう。あるいはまた年齢別の厳格な学年構成というものを根本から見なおしよう。うまく活用することを考えるよりほかない。「学校」はたぶん、それにちょうどいいサイズである。いいサイズだから、官制の学校だけでなく、「ナカノシマ大学」のような教えるひとと教えられるひとがときに反転するようなガッコーへともっと拡散してゆけばよい。([「中入り」]より)

4人にとっての
「学びの場」の
理想形とは？



5年前、4人は 何を考えていたのか？ 子どもたちが「生き延びる」 ための教育とは何か？



平松邦夫

地域や社会全体を含めて、
制度的に「おせっかい」を。

大阪市の町内会は組織率が高く、「下がった下がった」と嘆いている現在でも、依然として7割もあるんです。9割に達していた時期もあったぐらいで、260万人もの都市では信じられないぐらい高い。ところが、市民の7割が組織に入っているが、ほんまに地域のために仕事をしているという人たちは、おそらく5%もないんですね。一握りの人が町内会をやリ、PTAをやリ、保護司をやリ…と、あらゆることをやってらっしゃる。だからもう、名刺の裏が肩書きで真っ黒になってしまう(笑)。でも教育ってなんやと考えると、特定の人が担うだけでなく地域や社会全体、それにNPOなんかも含めて、制度的に「おせっかい」をしていかないと、ほんまにダメになると思うんです。(本編・第2夜より)



釈 徹宗

おせっかいに教えることは自らを
育てる。すなわち「共育」である。

そもそも、おせっかいというのは無駄が多い行為である。効率だけを考えるならば、とてもできるものではない。しかし、ここから始めないことには、現代人の消費者体質は変わらない。

現代社会には、すべての者が「消費者体質」になっているという大きな潮流がある。消費者は、すべてを専門家に丸投げして、コンテンツがパッケージされたのを購入する。そして消費者は対価と等しい満足いくサービスを受けて当然と考えている。不満であれば、クレームの声を挙げる。この図式が蔓延しているのである。(中略)

このような流れに違和感をもっている人は少なくないと思う。ただただ効率を追うだけ、無自覚に消費するだけの方向性に問題があると思っている人は大勢いる。おせっかいに教えることは、自らを育てる。教育は「共育」である。街で学び、みんなで共に育って行こうではないか。([「序文」]より)

笑う落語の大阪

第五回 高島幸次

6月の「天神寄席」のテーマは「天神祭」だったが、寡聞にして、天神祭ネタの古典落語を知らない。そこで、この日は、①笑福亭たま「菅原君の祟り」、②桂三風「船渡御今昔」生、中継、③桂枝三郎「天神祭」の新作三席と、他二席を楽しんだ。

①は昨年の天神祭に大阪市中央公会堂で行なったナカノシマ大学「丸わかり！天神祭」用に作られた新作。船渡御を舞台に、菅原道真の子孫の菅原くんが、藤原時平の子孫、藤原部長に左遷されて云々のプチギャク満載。

天神祭の忠臣蔵？

②は、現代の天神橋から遡航する船渡御と、文政7年（1824）の難波橋から下航する船渡御を、次元を超えて二元中継する船渡御解説編。

そして、③は2008年の第一回「上方落語台本大賞」の大賞受賞作。翌年1月の表彰式では、桂三枝（現・六代文枝）が演じた。

時は元禄14年（1701）6月25日、天神祭の本宮。松の廊下の刃傷から3ヶ月余のことだ。江戸から吉良上野介が家臣の清水一学を伴って、

赤穂からは大石内蔵助が藤江熊陽（おうよう）を同道して、天神祭を見物に来ていた。偶然に出会った2人は、素性を明かさないうちに意気投合……この設定だけでもワクワクする。

清水一学は、二刀流の使い手として知られるが、藤江熊陽については説明が必要だろう。熊陽は赤穂生れの漢学者で、内蔵助の子・主税の友人だった。赤穂藩取りつぶしの後、龍野藩の藩儒になる。その著書「答

客問」によれば、熊陽は同年の天神祭に出かけ、偶然に内蔵助の妻・りくと主税に出会い、堂島川に同舟して船渡御を見物している。

史実をデフォルメした噺は、気のせいかわかりづらい。お節介を言え、内蔵助の同行者は、熊陽ではなく主税の方が、より味わい深くなる（ような気がする）。

8月のテーマは「言葉仕事」。赤穂藩と江戸弁の会話は成立したのか。金水先生に聞いてみよう。たかしまこうじ 大阪大学招聘教授、追手門学院客員教授、大阪天満宮文化研究所研究員などを務める。

繁昌亭の名物企画、天神寄席の8月は。

天満天神繁昌亭では、土地を提供している大阪天満宮に敬意を表し、毎月25日の夜席を「天神寄席」と銘打ち、さまざまな企画を開催している。8月は鼎談のゲストに「役割語」研究の第一人者金水敏先生が登場。役割語とは、話者のキャラクターが思い浮かぶ喋り方のこと。金水先生には、落語に出てくる人たちが話す言葉はどう映るのか？

●8月のお題は「言葉」

8月25日（月）

「落語の言葉・仕事にカイボウする！」

ネタ／笑福亭喬若「野ざらし」

桂あやめ「格気の独楽」

桂梅團治「いかけ屋」

桂春若「天狗裁き」

鼎談／桂春之輔

（上方落語協会副会長）

金水敏（大阪大学教授）

高島幸次

（大阪天満宮文化研究所）

ナカノシマ大学で前売り券を買うとお得！

「天神寄席」の前売チケットをナカノシマ大学で買うと、1800円で入場できます。いつものナカノシマ大学と同じく、ウェブ、ハガキ、FAXでお申し込みを受付中。

開催日／8月25日（月）

時間／6:30PM（開場6:00PM）／受付開始5:45PM（）

受講料／1800円（通常…前売2000円／当日2500円）

支払い方法／当日、現地にて精算

販売期間／8月24日（日）7:00PMまで

※ナカノシマ大学で販売するチケットは前売り券のみです。当日券の販売はありません。

●申し込み方法はP10を参照してください。

●問い合わせ ☎06-4799-1340



落語のトリは桂春若師匠。古典の大ネタ、「天狗裁き」を。



落語の登場人物が喋る「言葉」の役割を金水敏先生が解説。



島民よ、 この店のことを食べろ！

島民のための、
ダイビルからの「景色」カレー。
第六回 「旧ヤム邸 中之島洋館」

江弘毅（本誌編集発行人）

『月刊島民』でも特集したが、昨年7月に建て替えられたダイビル本館は、大正14年（1925）の美しい近代建築の外装の彫刻や壁の煉瓦や床に貼られたタイルを再利用し蘇らせたものだ。

2006年から旧ダイビルが取り壊されるまでの3年間、わたしの仕事場はこのビルにあった。

期間限定でクリエイティブ系に限った入居者募集があつて、それまで雑誌の取材や編集を通じて、渡邊節が設計したこの大正近代建築ビルの素晴らしさをよく知っていたから、即応募した。

彫刻が施されたエントランスの天井に、磨き込まれてすり減ったタイルの床、当初はデパートのようなエレベーター・ガールがいたという旧式のエレベーター……。何から何まで素晴らしく美しく、その1階にビル内商店街があつた。

館内東端に「宗是」という蕎麦屋さんがあつて（店名は江戸時代からのこの地名である宗是町から）、値段も旧いままで安かつた。重箱に重ねられた定食のご飯大盛りのことを「島、大」と言っていた。中之島にちなんだ言い方で、なんかシブい感じがした。

西側の隅っこには「博龍商店」という小さな売



店があつて、毎日きつちりとメイクしそれとわかる良い生地の洋服を着た老婦人が一人でやっていた。袋入りのパンやスナック菓子、ペットボトルの飲料、カップ麺などに加え、なぜかウイスキーをボトルで売っていた。その老婦人は津田さんという人で、太平洋戦争の空襲の際、家からこ

の店に避難したと話してくれたことがある。随一の耐火耐震設計のビルだったのである。

そういうことを思い出しながら、1階からダイビルに入ると、天井の彫刻や壁のレリーフが再現されていて、真鍮の大きな「私設郵便函」はそのままだ。が、かつての空気が（感）が、最新の清浄機を通してクリアになったみたいなきな感じだ。



旧ヤム邸 中之島洋館

ローソンもある2階の店舗フロアにあるカレーの店。旧ダイビルをこの店一軒で再現したかのようなレトロな空間。5種類の「選べる混ぜカレー」（978円）目当てのOL、ビジネスマンで昼は満員。本店は空堀商店街にある。☎06-6136-6600
11:15AM～2:00PM 6:00PM～10:00PM 祝日・第2月曜休

1階と2階のフロアにいろんなレストランやカフェが並んでいる。フレンチ、イタリアン、スペインバル。2階の一番入りやすそうな店がカレーショップの「旧ヤム邸 中之島洋館」である。
この店の窓に面した席からの眺めはなかなかだ。まさに中之島から北に梅田を見る、大阪らしい風景だ。
窓枠によって堂島川越しのビル街を上手にトリミングしたように、東洋紡本社ビル、新藤田ビル、白いハービスOSAKAが高さの順に重なって見え、そのビル群に巻き付くように阪神高速のカレーが消えていく。その左奥に薄桃色の明治安田生命大阪梅田ビルがそびえる。
具の一杯入ったカレーをスプーンでゆっくり混ぜながら（ちなみにメニュー名は「選べる混ぜカレー」）景色を見て、これまたゆっくり口に運んで食べるカレーはとてつもない。島民ならではのランチタイムだ。



→取材と執筆に1年半を費やした『有次と包丁』が、新潮社からめでたく単行本化。発売からはや5ヶ月。ありがたいことに、中沢新一先生や平松洋子さんを始め、嬉しい書評をたくさんいただいています。

大阪・京都文化講座(後期) 「京都・大阪 街歩き」

—文学・芸術・映画の舞台を仮想探訪する—

数々の文化人が愛した京都と大阪。地図や写真など史資料を手がかりに、二都を読み解きます。

コーディネーター／永田 靖(大阪大学大学院文学研究科・教授、藤巻正己(立命館大学文学部・教授)
共催／大阪大学大学院文学研究科、大阪大学21世紀懐徳堂、立命館大学文学部、立命館大阪オフィス
受講料／1回1,500円



あなたの知的好奇心を専門家がバックアップ。 立命館大阪梅田キャンパス公開講座

各分野の専門家を講師に迎えた29の講座がスタンバイ。
学び続けたい社会人の方にも是非参加してほしい、9月からの後期時間割です。
ただいま、新規受講生を募集中。

5 11/10(月) 「『大』大阪の近代建築探訪 華麗なる水都の記憶をもとめて」 桑木野幸司(大阪大学文学研究科・准教授) 明治維新後、日本近代建築史上の珠玉の傑作が並ぶ、大阪の中之島を仮想探訪します。	1 9/29(月) 「民藝運動と大阪・京都」 藤田彦彦(大阪大学大学院文学研究科・教授) 建築を中心に、大阪と京都のゆかりの地をスライドで旅しながら、民藝運動と関西との関係について考えます。
6 11/17(月) 「川端康成の関西 ～故郷と異郷～」 中川成美(立命館大学文学部・教授) 『古都』を描いた川端康成にとって、関西は懐かしい故郷であり、憧れの異郷であったのではないのでしょうか。	2 10/6(月) 「与謝野鉄幹・晶子の京都 ～『みだれ髪』を中心に～」 田口道昭(立命館大学文学部・教授) 与謝野晶子の第一歌集『みだれ髪』の舞台の一つとなった京都での足跡を辿り、『みだれ髪』を鑑賞します。
7 12/1(月) 「近代大阪における 外来音楽の浸透について」 上野正章(大阪大学大学院文学研究科・招聘研究員) 地図や画像を駆使しながら、19世紀末から21世紀へ、近代大阪に音楽が浸透していく様子を辿ってみましょう。	3 10/20(月) 「武蔵、京を翔ける ～洛北鷹峯から蓮華王院、そして一乗寺へ～」 上倉庸敬(大阪大学大学院文学研究科・教授) 宮本武蔵と古い歴史の町並みを歩きます。日本映画発祥の地、黒谷で終わる小さな旅へ、ようこそ。
8 12/8(月) 「水上勉の心理地理学 ～『五番町夕霧楼』の舞台を訪ねて～」 加藤政洋(立命館大学文学部・准教授) 水上勉『五番町夕霧楼』を取り上げ、著者の心象風景もまじえて、舞台である京都の花街を仮想探訪します。	4 10/27(月) 「梶井基次郎と〈京都〉 ～『檸檬』の世界～」 瀧本和成(立命館大学文学部・教授) 梶井基次郎の小説『檸檬』の京都市中を歩く主人公「私」が抱く、「吉不な塊」の真相に迫ります。

※誌面の都合上、講座概要については一部省略し、掲載しております。



地下鉄谷町線東梅田駅から徒歩1分／地下鉄御堂筋線梅田駅・阪神梅田駅から徒歩3分／JR大阪駅・阪急梅田駅から徒歩5分

会場／大阪富国生命ビル5階 立命館大阪梅田キャンパス
(〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4)

時間／各回とも2:00PM～3:40PM

定員／各回130名 ※先着順

●講座やキャンパスについてのお問い合わせはこちら。

※電話での講座申し込みは受け付けておりません。

Tel.06-6360-4895(平日9:00AM～5:30PM 土・日・祝休)

Fax.06-6360-4894 E-mail.osaka-kz@st.ritsume.ac.jp

●詳しい講座内容についてはホームページ、

または下記URLからダウンロードできる

パンフレットをご参照下さい。

<http://www.ritsume.ac.jp/osakaumedacampus/>

立命館大阪梅田キャンパス

検索

毎週月・水曜は
富国生命ビル
5階へ!

大阪オフィス講座

社会問題から芸術文化まで、7つのテーマごとに
3回シリーズで展開する、バラエティ豊かな講座です。

受講料／1回1,000円



知れば知るほど、
楽しくなる!

11 11/19(水) 「役者絵のおもしろさ」 赤間 亮 (立命館大学文学部・教授)	浮世絵を 読む	大阪オフィス講座 社会問題から芸術文化まで、7つのテーマごとに 3回シリーズで展開する、バラエティ豊かな講座です。 受講料／1回1,000円 知れば知るほど、 楽しくなる！ 
12 11/26(水) 「江戸時代の 春画・艶本」 石上阿希 (立命館大学 衣笠総合研究機構・専門研究員)	満員御礼 10 11/12(水) 「浮世絵の 名所絵を考える」 大久保純一 (国立歴史民俗博物館・副館長)	
14 12/10(水) 「自己決定とは どんなことか？」 立岩真也 (立命館大学大学院 先端総合学術研究科・教授)	『生命』 その始まりと 終わりを考える	2 9/17(水) 「上方舞の伝統と前進」 森西真弓 (大阪樟蔭女子大学・ 教授／「上方芸能」編集代表)
15 2015年1/14(水) 「生と死と人間の幸福」 岡田弘二 (京都府立医科大学・名誉教授)	13 12/3(水) 「出生前診断、 何が問題か」 松原洋子 (立命館大学大学院 先端総合学術研究科・教授)	3 9/24(水) 「文楽に近づく」 広瀬 依子 (「上方芸能」編集長)
17 2015年1/28(水) 「関西には南海巨大地震 より怖い地震がある」 土岐憲三 (立命館大学 衣笠総合研究機構・教授)	阪神・淡路大震災 から20年 復興の取り組みと 防災科学を学ぶ	満員御礼 1 9/10(水) 「江戸(東京)の芸能・ 上方(大阪)の芸能」 木津川 計 (「上方芸能」発行人)
18 2015年2/4(水) 「人や町を地震災害 から守る技術」 伊津野和行 (立命館大学理工学部・教授)	16 2015年1/21(水) 「阪神淡路大震災 20年の歩み」 神田 裕 (カトリック司祭／NPO法人 たかとりコミュニティセンター・代表)	5 10/8(水) 「社会保障と税の一体 改革のなぜとどうなる」 石倉康次 (立命館大学産業社会学部・教授)
20 2015年2/25(水) 「大阪の仏さん」 釈 徹宗 (相愛大学人文学部・教授)	満員御礼 暮らしの中の 信心・信仰 大阪の神さん 仏さんたち	6 10/15(水) 「高齢者の社会的孤立問題 と介護保険制度の動向」 小川栄二 (立命館大学産業社会学部・教授)
21 2015年3/4(水) 「来訪する神・仏」 北川 央 (大阪城天守閣・館長)	満員御礼 19 2015年2/18(水) 「大阪の神さん」 高島幸次 (大阪大学・招聘教授)	満員御礼 8 10/29(水) 「もうひとつの 安全保障政策」 安斎育郎 (立命館大学・名誉教授 ／安斎科学・平和事務所・所長)
		満員御礼 いま考えたい 『憲法』のこと
		9 11/5(水) 「歌で憲法を輝かせる」 きたがわ てつ (シンガー・ソングライター)
		7 10/22(水) 「株式会社化する 国民国家」 内田 樹 (神戸女学院大学・ 名誉教授／凱風館・館長)

※誌面の都合上、講演タイトルと概要については省略し、掲載しております。

トウニン月報

2014年8月1日発行



Photos: OSA Images Costumes: Liz Vandal © 2009 Cirque du Soleil © 2013 Fuji Television

中之島にシルク・ドゥ・ソレイユの『オーヴォ』がやって来た！

国立国際美術館の北側、空き地だった場所に現れた奇妙なドーム。その中では、エンターテインメント集団「シルク・ドゥ・ソレイユ」による、スーパースーカスが繰り広げられている。
日本公演最新作となる『オーヴォ』。今回の主役は森や草木の下に潜む、小さな生き物

たちだ。描かれるのは、とある卵をめぐる生き物たちの掛け合いや、恋の行方、人間が出てこない作品は初の試みで、超巨大な植物や果物など、す



上／「ウェプ」
下／「アクトスポーツ」

シルク・ドゥ・ソレイユ「ダイハツ オーヴォ」大阪公演

期間／11月2日(日)まで ※貸切公演・休演あり
会場／中之島ビッグトップ(特設会場)
時間／12:00PM～4:00PM～
※上演時間 約2時間30分・休憩含む
入場料／S席 大人12,500円・子ども(3歳～小学生)8,500円
A席 大人10,000円・子ども6,500円
B席 大人6,500円・子ども4,500円 ※土・日・祝は+1,000円
問い合わせ ☎0570-20-0889(ダイハツ オーヴォ 大阪公演事務局)
<http://www.ktv.jp/ovo/>
※演出機材により、演目の一部が見づらい席あり
※都合により、演目の一部を変更する場合あり
※3歳未満のお子様でも座席が必要な場合は子供券が必要
※車イス席をご利用の方は、B席購入後、大阪公演事務局まで連絡



奈路道程画伯による「ナカノシマ大学美術部」。目の前に座った人を見て、いきなり描くという名人芸。

してその周りに屋台が並ぶというザ・盆踊りの素晴らしい光景が見られることになる。
月刊島民&ナカノシマ大学も屋台を出店。ところてんやアイスはなかなか、夏らしいメニューを販売する。
また、昨大好評を博した

中之島なつまつり2014

日時／8月28日(木)
5:00PM頃～9:00PM頃
会場／大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
1階プラザ
入場／無料(※グルメチケットは有料)
<http://nakanoshima-natsumatsuri.jp/>



(大迫力・本誌)

の新たな夏の風物詩を存分に楽しんでいただきたい。



昨年からのスタートした「中之島なつまつり」が今年も開催される。今年は会場を大阪国際会議場の1階プラザに移し、スケールが大幅アップ。吹き抜ける広場に建てられた櫓を囲んで踊る人たちが、そしてその周りに屋台が並ぶというザ・盆踊りの素晴らしい光景が見られることになる。
月刊島民&ナカノシマ大学も屋台を出店。ところてんやアイスはなかなか、夏らしいメニューを販売する。
また、昨大好評を博した



音頭を取るのはこの方、河内家菊丸さん。

河内家菊丸さんが登場！ スケールアップした『中之島なつまつり』で盆踊り

島民読者に朗報! 限定ウイスキー試飲が 無料に



サントリー大阪本社ビル入口の「ウイスキーショップ W」から、この夏にぴったりな限定ボトル2000本が登場。島民読者だけの特典として、通常は1杯300円の試飲を、なんと無料でご提供いただける。先着100名様限定の太っ腹なサービスだ。

今年の限定ボトルは、「森の蒸溜所」と名高い山梨県の白州蒸溜所のシングルモルトウイスキー。グラスから立ちのぼるのは、バナナを想わせる甘い香り。口に含むと、期待通りのフルーティーな味わいと口当たりのやわらかさが初心者嬉しい。

「とおきの飲み方を」紹介



ウイスキーショップ W.
「島民で見た」を合言葉に、8月29日(金)まで1杯無料で試飲可。ただし1人1杯限り。ボトルは1本3,240円(税込)、容量300ml、Alc.48%。
☎06-6341-3123
11:00AM~7:00PM
土・日・祝休

「介します」と阿部浩二店長。ハーブティーを少し加えるのだという。すると、シナモンの風味がアクセントになったアップルパイのような味わいになり、目から鱗が落ちた。秘密は、シングルモルトウイスキー白州にマッチするよう、特別にブレンドした限定ハーブティー。ウイスキーという年配の男性のイメージだったが、ひと工夫することで女性に受けそうな一杯に早変わりすると驚かされた。

(江口由夏・本誌)

ナカノシマ大学でおなじみの あの人が新刊を発売!

黒田一樹さんと言えば、島民やナカノシマ大学でもおなじみ。その黒田さんが意外にも初めてとなる「鉄道本」をリリース。その名も『乗らずに死ねるか!』(創元社・1620円)だ。

黒田さんが選んだ、鉄道ファンならずとも乗っておきたい列車の楽しみ方を、「鉄道会



2014年夏号の表紙は国枝金三の「中之島風景」(1927年)。洋風建築が建ち並び華やかな大正時代の中之島が描かれている

佐伯祐三や吉原治良などの名画を数多くの所蔵する大阪市。今春、2020年までに中之島に大阪新美術館開設のニュースが発表されたが、その絵画をいち早く見ることが出来る。リーガロイヤルホテルグループの広報誌『The ROYAL』の夏号から表紙を

リーガロイヤルホテルの 「The ROYAL」の 表紙にあの名画が!

飾っている。誌面では「ザ・中之島コレクション」と題して大阪新美術館建設準備室研

究主幹の菅谷富夫さんの解説もなされている。この冊子は年4回の発行でホテル館内に

て配布しているので、ぜひ、ゲットしてもらいたい。

また、ホテルでは耳寄りなニュースが、「リーチバー」でお馴染みの民藝運動に関わりの深い陶芸家バーナード・リーチの世界観をアイデアに建築家の吉田五十八が手掛けたオールデイドイニングリモネ内のダイニングスペース「ラ・



独創的空間の「ラ・ロンド」。オールデイドイニングリモネ ☎06-6441-1056(直) 6:30AM~11:00PM

ロンド」がリニューアル。ガラス張りの円形の店内からは緑が美しく、その周辺をぐるりと池が囲んでいてまるで浮島のよう。『The ROYAL』を片手に唯一無二の空間でお茶を楽しむアートな時間がおすすめ。(道田恵理子・本誌)



創元社 鉄道セミナー
「乗らずに死ねるか!」
出版記念 関西拡張版
日時/8月29日(金) 7:00PM~8:30PM
会場/創元社 本社 定員/50名
受講料/2,000円 ☎06-6231-9011

社の思惑とはまったく無関係に」紹介する1冊。ウンチクよりも乗って楽しいかどうか、すなわちパッセンジャー・エクスペリエンスを一番に重視する黒田さんならではの視点で解説する。

島民にはおなじみの京阪電車をはじめ、関西の鉄道の乗

車体験記もたくさん収録されている。それにしても日本全国27もの鉄道が紹介されているのだが、いつの間にか乗っていたのだろう。8月29日(金)

には、版元である創元社にてイベントも開催。ナカノシマ大学にて黒田さんのファンになった諸君、ぜひ応援に行こう! (大迫力・本誌)

台湾料理の「五福」で人気なのが、約50種類ある小皿料理だ。魚・肉・野菜とバリエーション豊富で、ひと盛りが少なめなので、量を気にせず何皿も注文できるのが好評だ。台湾料理は、すぐ西側の中国福建省の料理をベースにしなが、独特の気候風土の中で発展してきた。四方を海に囲まれた島であるため海の幸がたくさん獲れるだけでなく、3000m級の山々が島内中央部を南北に走っていることから、野菜やキノコなど山の幸にも恵まれている。また、中国各地の料理と比べると油を使う量が少なく、素朴で家庭的な料理が多い

小皿料理で知る、台湾の食文化。

「台湾小皿料理 五福」 ●台湾料理



台湾料理にはやはり紹興酒。まろやかな口当たりの甌出し紹興酒(グラス450円)のほか、熟成年数の異なるお得な3種類の飲み比べセット(980円)も。

点も特徴となっている。ところで、日本では「台湾料理」と言えば小皿料理」といったイメージが定着しつつあるが、これにはどんな理由があるのだろうか。上海出身の店長・馬燕霞さんに聞いてみたところ、はっきりとした理



中央はA菜と牛肉のガーリック炒め(780円)。A菜とは、手に持った時、アルファベットの「A」と形が似ていることから名前が付いたとも言われる台湾ではポピュラーな食材。紹興酒をソーダで割ったドラゴンハイボール(450円)とぴったり。

由は定かではないようだが、次のような台湾の食文化との関わりが考えられるのだとか。

例えば、台湾の家庭ではお粥と一緒に「小菜」と呼ばれる小皿料理を食べ、地方や家ごとにさまざまな種類があること。また、観光名物の屋台では、「小吃」という気軽に食べられる料理が多く、外食文化が根づいていることなどから、台湾の食と小皿料理が結びつくのでは、ということだ。

さて、こうした小皿料理は、作る立場から見ると場合、チーフの小森広光さん曰く「味が行き渡る」という利点があるらしい。量が少ないぶん、食材全体に均等に味を広げることができ、その技が、食べる側を「もう一皿!」という気分にするのだ。

「五福」の厨房を見せてもらうと、メニューの数に比べて意外に広いスペースではない。次々と通る注文の声に、黙々と鍋を振って応える。多い時には200皿以上を作ることもあるそうだ。

「やっぱりいろんなものを食べたいでしょうから。たくさん食べて喜んでもらえれば」と小森さん。厨房の一角には、小さな白い皿がうずたかく積み上げられていた。

祝 祭 へ よ う こ そ 。

FESTIVAL
PLAZA

<http://festivalplaza.jp/>

提供 / 株式会社 朝日ビルディング



台湾小皿料理 五福[wu-fu]

●中之島フェスティバルタワー B1F

小皿料理は290円〜と、どれもリーズナブル。その他にも多くのメニューが揃い、酢豚や青椒肉絲など中華料理の定番メニューやご飯もの、麺料理もある。台湾南部発祥の担仔麵(タンツォーメン)はあっさりしたスープがシメの一品としても人気(480円)。毎週火曜はメンズデーで、男性客にはドリンクのサービスがある。☎06-6202-5335 11:00AM〜3:00PM(LO) 5:00PM〜10:00PM(LO) 不定休

大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅／京阪シティモール／京阪モール／デリスタ天満橋店／ホテル京阪天満橋／ホテル京阪京橋
- 大阪市北区・中央区・福島区 〔書店〕旭屋書店 梅田地下街店／カベラ書店／紀伊國屋書店 梅田本店／紀伊國屋書店 グランフロント大阪店／紀伊國屋書店 本町店／ジュンク堂書店 大阪本店／ジュンク堂書店 梅田ヒルトンプラザ店／ジュンク堂書店 天満橋店／MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店／スタンダードブックストア／天牛塚書店 大江橋店／ブックファースト 淀屋橋店／文教堂書店 淀屋橋店／隆祥館書店 〔公共施設・大学関連施設など〕アイズボット／朝日カルチャーセンター／味の素 食のライブラリー／ABC朝日放送／大阪企業家ミュージアム／大阪倶楽部／大阪工業技術専門学校／大阪国際会議場／大阪市中央公会堂／大阪市立中央図書館／大阪市役所市民情報プラザ／大阪城天守閣／大阪商工会議所／大阪大学中之島センター／大阪21世紀協会／大阪府立中之島図書館／大阪ボランティア協会／大阪歴史博物館／追手門学院 大阪城スクエア／川の駅はちけんや／関西学院大学 大阪梅田キャンパス／慶應大阪シティキャンパス／国立国際美術館／CITY NAIL'Sインターナショナルスクール／芝川ビル／市立住まい情報センター／中央電気倶楽部／ホテルNCB／メビック扇町／立命館大阪オフィス／龍谷大学大阪梅田キャンパス
- 〔店舗・医院など〕アリアスカ マーブルトレ／アンドール 本町本店／上町貸自転車／Ultra 2nd／江戸前料理 志津可／天満橋鍼灸整骨院／MJB珈琲店／大西洋服店／OOO(オー)／カセッタ／喫茶センター／喫茶SAWA／レストラン中之島／黒門さかえ／コモカフェ／サトウ花店 中之島本店／サメロディ／シアルベストコーヒー新聞電ビル店／じろう亭／Girond's JR／心斎橋山田兄弟歯科／住友病院／セブンイレブン大阪証券取引所店／タビエスタイル／たまがわ鍼灸整骨院／東郷歯科医院／NAKAGAWA1948 淀屋橋店／ナンジャノ／バスターレ／花かつ／BAR THE TIME 天神／平岡珈琲店／ビルマニアカフェ／フレームハウス／ミニジロー／宮崎歯科／やきとりばかや／吉田理容所／ラッカラーニャ／LES LESTON
- 大阪市内その他 〔書店〕大阪書店／紀伊國屋書店 京橋店／なんばミヤタ／福島書店／柳々堂／ループル書店 〔公共施設・大学関連施設など〕大阪市社会福祉研修・情報センター／大阪市立図書館／川口基督教会 〔店舗・医院など〕あじさい／アートアンドクラフト／欧風食堂 ミリパール／大阪市信用金庫 江戸堀支店／御舟かもめ／Calo Bookshop and cafe／写真とプリント社／鳥かごキッチン／ネイルサロン スワンナ／バルビコ／ホテル64オオサカ／MANGUEIRA／Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店／学運堂／Books 呼文堂／水嶋書房 くらげモール店／大阪狭山市立図書館／大阪大学企画広報・学芸連携事務局／大阪大学 21世紀記憶館／大阪大学本部／寝屋川市役所／摂南大学 地域連携センター／郵政考古学会／ゆったりんこ
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店／恵文社 一乗寺店／水嶋書房 丹波橋店／伊丹市文化振興財団／川のほとりの美術館／納屋工房／タバーン・シン普森／百練／奈良県立図書館情報館

◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 「講談・大坂の陣」

今年から来年にかけては「大坂冬の陣・夏の陣」からちょうど400年。
中之島周辺が舞台の講談を手がかりに、歴史の転換点を俯瞰する。

●『月刊島民』vol.74は2014年9月1日発行です！

編集・発行人／江 弘毅(編集集団140B)
編集・発行／月刊島民プレス
若狹健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)
松本 創 江口由夏 大迫 力(編集集団140B)
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341
制作進行／堀西 賢(ALEGRESOL)
デザイン／山崎慎太郎
表紙イラスト／奈路道程
印刷／佐川印刷株式会社

こころまち つくろう
KEIHAN
京阪電車

んー、空気がいいなあ。

中之島けい子
二ノ瀬駅



ひろ文
貴船神社



おけいはん、夏を涼みに叡電で

出町柳から叡山電車にのって、爽やかな風のなかへ。



車窓に迫る深緑の波
展望列車「きらら」



夏は深緑、秋は紅葉を楽しむ特別仕様の列車。窓向きのシートに座り、目の前の窓いっぱいに広がる景色を眺めつつ、緑のなかを駆けぬげる爽快さは格別。

※「きらら」はすべて自由席です。普通運賃のみでご乗車いただけます。
※タイヤ・運賃は、叡山電車 鉄道部 運輸課 TEL 075-781-5121 までお問い合わせください。

駅ナカの山小屋?！
二ノ瀬駅舎



モミジの太木と可愛いログハウスの駅舎。まるで童話の世界に迷いこんだような森のなかの駅は、貴船などにつづくハイキングの出発点としても人気です。

おけいはん Facebook
@c.okeihan

京阪のおけいはん

詳しくは、京阪電車主要駅のチラシをご覧ください。

www.okeihan.net